

鈴木貴晶 (自由クラブ)

土曜日の学校授業復活について



市内中学校の授業風景

問 民間企業の調査によると、7割を超える保護者が土曜授業の完全復活や隔週での土曜授業を選んで

答 現在、学校週5日制の中で、土曜日の活用について話題になっている。

代休日や設けず教育課程内の学校教育活動を行う土曜授業は現在行っていない。市としては、学校以外の者が主体となって希望者にスポーツや学習等を提供する

土曜学習の活動を支援したいと考えている。

小中一貫校の導入の考えは

問 政府は6月3日の閣議で、公立の小中一貫校

答 現在、国が慎重審議し、いろいろな問題点を検討している

現在、国が慎重審議し、いろいろな問題点を検討している。審議の行く先を見据えて、小中一貫校についての方向を判断していくことになると考えている。

日恵野佳代 (無党派・日本共産党)

空き家バンク・空き家対策窓口の設置を

問 若い世帯の定住化として、住まいの支援をする

答 市内の空き家は4200戸うち一般家屋が1730戸

問 形原地区の公共交通モデル運行の状況は

交通空白地の対策として形原地区がモデル地区として地元で協議している

問 蒲郡海洋開発株式会社の経営と今後の見通しは

答 形原地区には公共交通協議会があり、この会で決まった主な骨子は、新年度4月から車両をジャ



幸田町で運行されているコミュニティバス

譲渡の判断をするのに、いくらのものを譲渡するか承知していたのか。

答 具体的な資産価値については、蒲郡海洋開発株式会社の決算が確定していないため公表できない。

問 県への未利用地譲渡が明らかになり、蒲郡海洋開発株式会社に残された資産は限られたものになる

答 蒲郡海洋開発株式会社は形原地区全体を周回する路線型。運行回数は週3日1日6便で、この6便のうち左回りが3便、右回りが3便

問 蒲郡海洋開発株式会社の経営と今後の見通しは

答 ラグーナテンボスへ5億円で譲渡した資産は、いくらの価値があったか。